

# 木オだよソ

社会福祉法人 東香会  
しぜんの国保育園 small village

Nov. 2022



法人理念  
**いきいき**

- 子どもの成長・発達・生活に寄与する人はすべて保育者
- 永続的な暮らしを目指し、物質と事象と生命との関係性を深める
- 地域で安心して子育てができるように

## 11月主題 いろどりの中に たくさんのたね

山の草刈り、旧園舎の掃除、木の枝打ち。このところ保育者のみんなと、場の手入れをしています。

築田寺でも、薫習(すべての行為は体に記憶されるという意味。生き方を考えることにもつながると言われています)と呼ばれる文化を大事にし、朝のスタートは掃除から行うようにしています。

今回の木々の管理は、子どもたちにWSを行なってくれていた木こりの曾我部さんに来て頂きました。草刈りのレクチャーでは「まずは風が入るように」「光が差し込むように」とイメージの共有をします。

うっそうとしている木々を草刈りしていると、風が通り、光が入ります。それを体で「わかって」きます。薫習の通り、草刈りは生き方にも繋がると、草を刈りながら感じていました。

安全を守りながら、掃除や草刈りなど作業している姿を出来る限り子どもたちにも見てもらいたいと感じます。子どもと一緒に暮らしを作ること、それはこんな日常の掃除という風景からも生み出せるのではないのでしょうか。

そういえば、枝打ちが上手だったのが柳澤さん。草刈りが上手だったのが島田さんでした。

(偶然、今号の上島さんの『のんびり漫画』とリンクしました。ぜひご覧ください)

園長 齋藤美和





## 11月 の予定

収穫祭・避難訓練  
自然体験  
七五三お寺参り  
誕生会  
こども美術館  
自然体験

### お知らせ と おねがい

#### ◆駐車場のマナーについて

園の駐車場は子どもたちも行き来します。利用する方が周りに配慮していただくことで、心地よく駐車場を使っていたきたいと思えます。複数の保護者の方からも声が上がっています。以下の点を改めてお願いします。

- 混み合う時間帯は素早い移動を
- 出庫される車を待っての入庫
- 道路に出る際はスピードを落として
- 白線の内側に駐車する

#### ◆4・5歳ひびき山リレー 16時～

各ご家庭2名のご参加をお願いします。園の駐車場は通常の送迎で使用するため、ご利用いただけません。近隣のコインパーキング、公共交通機関をご利用ください。

◆こども美術館です。詳細につきましては後日お知らせいたします。

## じむしょ 小窓 だより

秋の風が気持ちの良い季節となりました。戸外での活動の時間も増え、子どもたちの食欲が最も増してくる時期です。ランチの時間には「おなかすいた〜」「おかわりおもりで〜」と子どもたちの元気な声が聞こえてきます。ここ数年は感染対策から思うようにできなかったことが多々ありますが、最近少しずつクッキングを始めています。今まで以上に感染対策や衛生面に配慮し、出来る範囲を模索しつつではありますが、安全に行っていけたらと考えています。

今年のお月見には2年ぶりにけやき組がお団子作りに初挑戦しました。どんなお団子ができるのかな？と待っていると初挑戦とは思えないほど粒のそろった綺麗なお団子に仕上がりました。また先日は乳児クラス中心にまきさんの畑にさつまいも掘りに行きました。早速大きなさつまいもを使ってスイートポテトのクッキングを。

そして最近パンの絵本が大好きなつぼみ1歳さんはパン作りに挑戦。小さなパン屋さんが丸めたパン生地を給食室まで一生懸命運んできてくれました。「やいてください」のかわいらしい言葉に給食室のみなも心温まるひと時でした。

11月に行われる収穫祭では、乳児さんも幼児さんも野菜の下処理をしたり、収穫したさつまいもを洗ったり、園庭のみかんを収穫したり、みなで手分けをしながら収穫祭の準備をしていきます。この収穫祭では、けやき組さんがかえで組のときにクッキングで作った味噌も使われます。この味噌つくりはしぜんの国の伝統的なクッキングです。煮た大豆を手でつぶしたり、塩と麴を混ぜたり、すべての工程を子どもたちが行います。味噌の完成まで8ヶ月ほどかかりますが、収穫祭のぼかぼか豚汁だけでなく、人気の味噌クッキーやパウンドケーキに使用したり、味噌のお店屋さんもオープンします。味噌つくりは完成まで視覚・味覚・臭覚とその変化を長期的に楽しむことができるクッキングです。是非ご家庭でもお試してみてくださいはいかがでしょうか。

キッチンマネージャー 三木

## こども 村インタビュー

ひびき山リレーを見て...編

保育者 「けやきさんとかえでさんのリレーどうだった？」

SYさん 「楽しかった、お兄ちゃんはやかった」

Rさん 「Yっちゃんのお姉ちゃんがはやかった」

保育者 「どうしたらあんなにはやく走れるのかなあ ...」

SNさん 「スピードをあげてく。だれかにパスしてぐるんぐるん！」

Rさん 「スピードだす。かえでになったらやるんだよ」

(お互いに顔を見合わせて)

SYさん SNさん 『ねー！！』

第8回目の担当はかえで組担任、あおぞらチーム担当の佐野志穂乃さんです。

## 保育者 リレー エッセイ

【興味を持ったことに向かっていく時の表情、目の輝きが印象的なしほのさん。そこから広がっていく大胆な発想には驚かされます。ユニークなアイデアはどこから生まれてくるのでしょうか？また、今夢中になっていることがあったら教えてください。】

いじりさん、そんな風に見ていただけていたとは！驚きと嬉しさで照れてしまいます。素敵な紹介文をありがとうございます。バトンしっかりと受け取らせて頂きました。

さて、本題となりますが、大胆な発想、、、ユニークなアイデア、、、。あまり自分では意識したことがなかったのですが、思い返すと自分自身がポン！と思いつきで話したこと。それが周りの人から驚かれると言った経験はよくある気がします。色々考える前に口走ってしまうところは気をつけて生きていきたい所でもあるのですが、、、。そうですね、"やってみた〜い""たのしそ〜"と思ったことを何も考えずに口にしてしまうと"それいいじゃん"と受け入れてくれる人がいて、それがまた膨らんだり現実的になったりと深まって行くことにわたし自身、周りの人に恵まれているな。ありがたいな。と感じながら過ごしています。これ！と信じている確信は持てないのですが、自分のその時の気持ちを素直に表現すること。そして、それを尊重し、聞き入れてくれる人の存在を大切にすることの積み重ねが、わたし自身が自由に発想を巡らせ、アイデアとして伝えられる経験に繋がっているのかも知れません。

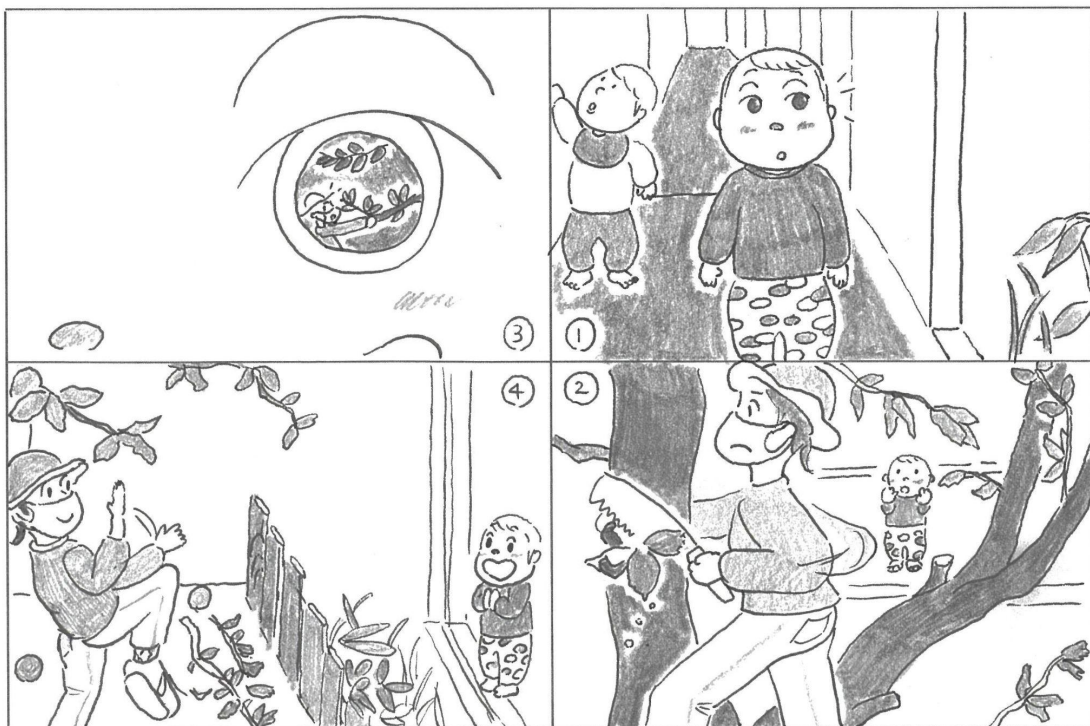
また、浅く広く色んなものに興味が向きがちな私ですが、いま夢中になっていることは、漫画のワンピースを読むことです！ 9月台風接近のため旅の予定が全てキャンセルになり落ち込んでいた頃。友達から、「これ読まなきゃ人生損してるよ！」と言われ、読み始めたのが始まり。仕事終わりに"よし、今日も海に出るか〜！"という気持ちでソファーにダイブ。毛布にくるまりながらまぶたが落ちるまで読み込む一時が何より至福の時間となっています。そして、「あの場面は、涙とまらなかった〜！」など、好きなことを好きな人と語り合う時間はもっと楽しいですね。元々アニメや漫画に詳しい方ではないのですが、"人の好きが自分の好き"になる感覚は子どもたちと暮らしを共にする中で日頃からよく見ている光景。わたし自身、大人になるにつれ、なんとなく自分の心地よいと感じる物が分かってきました。その反面、子どもたちのように新たな刺激と出会う機会を知らず知らずのうちに見逃していたのかも知れません。これからは"好き"が見つかる心地良さをもっと自分の中で広げられるよう、人との出会いや物との出会いなどを大切に生きていきたいなと思います。

次回は、、、ウクレレ名人、太極拳の師匠、虫博士など様々なタイトルネームをお持ちの小杉さん！自分の好きを子ども達と暮らしを共にする中で自然と伝えている姿や、子ども達の興味を広げ共に楽しんでいる姿に憧れます。それらの"好き"はどのように見つけ、深められてきたのでしょうか？また、いま挑戦したいことなどあればぜひ教えてください。

## かみじま のんびり 漫画劇場

## 「いつもと違う風景」

文・絵 かみじま たるひ



INFO

たるおじさんの紙しばい新作「どうぶつさん」YouTubeにて公開！

<https://www.youtube.com/watch?v=EUfgsOWI6Y4>